



高崎 正之 議員

貧困化社会の中の子どもに対する救済について

現在子どもの貧困率は6人に1人の割合と云う数字が公表されて居りますが、池田町として、保育行政を含め具体的な救済対策は。

町長

未だ景気が回復していない現状の中で、地域の中における所得格差等々の要因から社会現象化した結果、子どもを産みたくても養育に必要な所得を得られない為に、少子化の傾向、或いは人口減少にも影響している。池田町としては相対的貧困世帯、或いは町民税の非課税世帯についても、保育料の軽減、或

いは全面免除して居ります。加えて医療費の無料化も18才まで行っています。その他3人目の子どもに対する助成も実施している。幼保連携に依る認定こども園の移行の流れも出来つつあり、待機児童のないよう、3才保育から0才保育に変わって来たことにより、お母さん方の働く選択肢も広がっている。貧困対策を含め福祉の町として中学校の制服のリサイクル問題等地域のボランティア関係を含めてやっていく必要がある。これからも誰もが安心して住み、子育て出来るような対策をとっていききたい。



外来動物の被害並びに駆除対策について

対象動物は野生化した、アラライグマとハクビシン。農産物の食害、住居、神社仏閣、倉庫等に住みつき悪臭、ダニ、ノミの二次被害等々居住環境の悪化の対策と予防。

町長

外来動物の生活環境被害については把握しており、特に生ごみ等餌になるものを畑に置かない。町としても外来動物の知識を広報・啓蒙活動を行う用意をしている。特に被害が多い地域には専門家を含めて対応したい。本件は動物保護法等関連法令も有るので揖斐農林事務所等の指導を受け実施したい。

アラライグマの特徴
尾に縞模様、目の周りに黒いマスク模様がある



● 農作物被害



スイカの食害
皮に穴を開けて、手で中身をくり抜いて食べた痕



トウモロコシの食害
皮をむいて、実の部分だけを食べた痕

農作物の食害
甘みのある作物を好み、主に収穫後に食害する

〈食害に合いやすい作物〉
トウモロコシ、スイカ、メロン、マクワウリ、ブドウ、モモ、イチゴ

その他

田植えの前後、水稲の苗や苗床を荒す（カエルを捕食するためと思われる）